

# 食糧

## 課題と産学の果たすべき役割

### 【開催趣旨】

科学技術交流フォーラムは、東京大学産学連携協議会会員企業等を対象として、東京大学研究者が研究成果や「知」を発信する「産学出合いの場」です。本フォーラムが産学連携の契機となり、近未来の社会・経済にとって「解を出すべき課題」に対して、専門分野・産業界を横断したチームが形成され、産学連携活動を企画・実行し、その課題解決が図られることを目指しています。

今回の第12回フォーラムでは、食糧問題を取り上げます。食糧の安定生産と安定供給を確保するということは、地球環境変化、育種・栽培技術、バイオマス・エネルギー、農業経営、そして流通と貿易、等々と多くの課題を含むため、広範な領域の「科学」と「技術」を糾合して解決せねばならない緊急課題です。特に「大学の知」と「ビジネス」の結合による迅速な問題解決の重要性は極めて高いといえます。本フォーラムでは、本学の第一線の研究者と産業界から最新の研究成果、今後の見通しとあるべき取り組みを語っていただきます。

2008年11月12日(水) 13:30~17:45 (交流会18:00~19:30)

【フォーラム】東京大学 山上会館 2階 大会議室 (本郷キャンパス)

【交流会】東京大学 山上会館 地階食堂

主催 東京大学産学連携協議会運営本部 (東京大学産学連携本部内)

参加定員 150名 / 事前登録制 (先着順、登録はウェブ上で)

参加費 フォーラム: 無料 / 交流会: 3,000円

申込締切 11月7日(金)

申し込み 東京大学産学連携協議会運営本部事務局 (東京大学産学連携本部内)

問い合わせ先 <http://www.ducr.u-tokyo.ac.jp/kyogikai/forum/>



# 食糧

## 課題と産学の果たすべき役割

### プログラム

13:30~13:35	開会挨拶	藤田 隆史(東京大学 産学連携本部長)
13:35~13:40	挨拶	生源寺 眞一(東京大学 大学院農学生命科学研究科長・農学部長)
13:40~14:10	講演 1	「食糧生産とバイオテクノロジー」 内宮 博文(東京大学 分子細胞生物学研究所 教授)
14:10~14:40	講演 2	「生物資源の持続的利用に向けた生物多様性情報基盤の形成と利用」 伊藤 元己(東京大学 大学院総合文化研究科 教授)
14:40~15:10	講演 3	「機能リモートセンシング:精密農業や環境モニタリングへの応用」 大政 謙次(東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授)
15:10~15:25	休憩	
15:25~15:55	講演 4	「根のデザイン」 森田 茂紀(東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授)
15:55~16:25	講演 5	「国産バイオマス利用と資源問題」 五十嵐 泰夫(東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授)
16:25~16:55	講演 6	「農業経営の多様な展開と持続可能性」 木南 章(東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授)
16:55~17:40	講演 7	「日本を取り巻く食糧問題」 柴田 明夫(丸紅株式会社 経済研究所 所長)
17:40~17:45	閉会挨拶	太田 与洋(東京大学 産学連携本部 教授・産学連携研究推進部長)
18:00~19:30	交流会	司会 高塩 仁愛(東京大学 産学連携本部 Proprius21プログラムオフィサー)